

身の安全を守る土砂災害

都城市立庄内中学校 2年 折津 美羽

私がこの土砂災害防止を決めたきっかけは家の近くに斜面があり土砂災害についてもっと詳しく調べたかっただけのこと、そして2021年の7月3日に起きたレベルニースを目にしたからです。普通の街で起こった平和な静岡県熱海市伊豆山の伊豆山神社南西で発生した土砂災害で、パンから溜まで2kmという長さで流れてきて、20数名が巻きこ

まれて大切な命がなくなってしまう。そのニュースを見て土砂災害について調べようと思いました。家の近くにある斜面は木が植えてあり、根っこで土砂災害が起こらないように工夫をしています。でも、いつか土砂災害が起きるかわかりません。そこで、私は次の三つのことを考えました。一つ目は、もし土砂災害が起きた時の避難経路です。私達の地域の公民館は避難経路について看板があります。月に一回ごみ捨て

に行く時、目に入るのが看板です。いつも、
じーっと見てしまおうその看板では逃げる工夫
が書いてあります。私は、時々休日に家から
の避難経路を確認しに行っています。
二つ目は、斜雨近くに土石流危険渓流の看
板があることです。大雨が降った時は土石流
が発生する恐れがあります。毎日行く犬の散歩
で通るのでこれもまた目に入ります。だから
毎日立ち止まって見ています。
この2つで分かったことは私達の地域では
土砂災害防止についての工夫をしているのだ
なと思いました。
三つ目は、土砂のニュースについてです。
よくニュースで土砂災害の注意通報や家が崩
壊したり流されたりというニュースがあります。
みんなが通る道でも土砂が崩れて通行止め
になり、いつもの日常が急に変わって
日常生活にも影響があります。
もし、土砂災害が起きたら、たゞ地域の人達を
避難所まで連れ歩いていき、自分の身も守りながら

か地域の人の身も守ります。台風や大雨が
発生した時に家の近くの斜面がいつ崩れるか
心配です。

私は、小学生の頃よく砂場遊びをしていま
した。砂で道を作って水を流して井たらし曲が
る所で土がどんどん崩れていました。他に
砂の山を作りそのトから水をかけたり、てっ
ぺんにあっつあ砂が流れていつたりと、小学生
の時、土砂が崩れていくのをよく見ていたこ
とを思い出します。

そこで私は、土砂災害が多発している区域
やなせに起こってしまう原因を調べることにし
ました。インターネットで調べた所、広島県
がぬい々出てきました。調べ進めていくと、
広島花こう岩をいう石英・長石を主成分とす
る岩石が雨にさらさられるとマサ土をいう砂に
似ている土に変わります。マサ土は雨の水を
含むとてももろくなりすぐに崩れやすくな
る性質になることが分かりました。そこで、
身を守るための対策も一緒に調べてみました。

対策としては、住宅の新規仕込などがあると思いましたが、

土砂災害の死者や行方不明は2021年で33名ほどであったみたいです。2021年では、土石流等、地すべり、かけ崩れの合計972件発生したようです。

自分が、土砂災害は起こらないだろうと思うのではなく一人一人が災害のことを調べたりすると日常ではしない避難経路の確認をしたり、どの意味を持つたりするのとかとして、私

では大切だなと思いました。そして、私がこの作文を書いて感じたことは、自分の身近に危険な場所があり、いつ災害が来てもおかしくないと思いました。私の家は一番近い避難所が川の横にあり、とても危険なので早めの行動で安全な避難所へ行き、命を守る行動

を心がけています。そのためは、白頭、積極的に地域の防災訓練や学校の行事の避難訓練に危険感を持って取り組んでい

きたらと思います。

「私は自分の命もですが近所のお年寄りや体
の不自由な人もみんなが安全に避難できるよ
うに日頃のコミュニケ―ションを大切にしてい
て防災意識を高めて行きたいと思います。」